

資料1

令和2年度 村上市立図書館の活動評価

[基本評価]

① 利用状況

項目	30年度	31年度(R1)	2年度	協議会評価	備考	参考増減(%)
入館者数(人)	125,472	111,130	71,937	—	中央館のみ	-35.3
個人貸出冊数(冊)	156,343	146,964	121,959	—		-17
貸出人数(人)	50,248	47,310	30,515	—		-35.5
予約件数(人)	10,316	9,796	10,344	—		5.6
新規登録者数(人)	857	697	493	—		-29.3
登録者数(人)	15,035	15,761	16,275	—		3.3
インターネット利用数(件)	2,086	1,988	1,260	—	中央館のみ	-36.6
開館日数(日)	288	271	256		中央館のみ	-5.5
郷土資料受入点数(点)	155	171	168	—		-1.8
利用満足度(%) (全体的な満足度) (たいへん満足+やや満足)	78.39	82.50	77.33	—	中央館のみ 回答者数:150人 うち たいへん満足 79人 やや満足 37人	-6.3

※評価項目については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等の影響により例年との比較に偏りが生じるため、評価は行わない。

②管理運営費(各年度の決算額・千円)

項目	30年度	31年度(R1)	2年度	備考
中央図書館経費	15,168	15,289	16,678	
地区図書館・分室経費	2,044	1,308	1,050	
(うち資料費)	(1,799)	(1,230)	1,000	
図書館ネットワーク等経費	41,500	40,524	40,188	
(うち資料費)	(7,500)	(7,500)	(7,500)	

○重点事項達成に係る事業 : 「第2次村上市子ども読書活動推進計画」策定事業

《事業概要》

子どもたちが、自ら考え判断し、さまざまな問題を解決して未来をたくましく切り拓いていくことができるよう、その活力の源となる読書活動の環境づくりを地域全体で積極的に推進する。

《事業実績》

計画策定にあたり、関係機関の協力のもと、令和3年3月に完成。

本計画は、平成28年に策定した「村上市子ども読書活動推進計画」の方針を受け継ぎ、子どもたちが自主的に読書に親しむ機会と環境を整備・充実し読書活動の推進を図るため、関係機関へ計画書を配布したほか、村上市立図書館HPに掲載し他関係者への利用も図ることとした。

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	第1次計画を踏襲しながら、読書バリアフリー法成立やGIGAスクール構想など、社会環境の変化に対応した計画書を計画策定期間内に完成させている。

重点事項 2	課題解決に向けた資料の充実を図る
---------------	-------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

- ①幅広い分野の最新情報を提供できる資料収集に努める。
- ②地域資料、行政資料の収集整備に努める。
- ③「村上市子ども読書活動推進計画」に基づき、全館で児童書の充実を図る。

《事業実績》

- ①令和2年度において4,414冊（一般書2,894冊、児童書1,520冊）の図書を購入した。
（H31年度:4,711冊（一般書3,107冊、児童書1,604冊））

- ②地域資料、行政資料については、新潟県及び村上市岩船郡に関する資料168冊を受け入れた。
（H31年度:171冊（購入12冊、寄贈159冊）受け入れ。）

- ③令和2年度において1,520冊の児童書を購入し、中央図書館1,171冊、朝日図書館82冊、荒川図書室91冊、神林図書室86冊、山北図書室90冊を配置した。
（H31年度:1,604冊（中央1,196冊、朝日97冊、荒川108冊、神林103冊、山北100冊））

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入予算について計画的に全額執行した。 ・地区館分の予算が更に削減され、各地区予算配当分の購入に苦慮したが、地区ごとのバランスを考慮した選書に努めるとともに、利用ニーズに沿った資料を購入した。 ・全館において経年劣化した資料を除籍し、書架整理を実施した。
②	A	郷土資料の購入18冊、寄贈150冊を受入れ、出版された資料は、ほぼ収集し所蔵した。
③	A	課題図書や、推奨図書など積極的に購入するとともに、発達段階別の児童書の整備にも努めた。

重点事項 3 **様々な研修機会を確保し、職員のスキル向上を図る**

○重点事項達成に係る事業 : 職員研修等

《事業概要》

様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

《事業実績》

① 令和2年度は次の研修会に職員を派遣した

【外部研修】

・第1回公立図書館長会議及び新潟県図書館協会評議員会 (1人)	5月15日	[書面開催]
・子ども読書レベルアップ研修会① (4人)	7月17日	
・子ども読書レベルアップ研修会② (4人)	9月18日	
・新潟県公共図書館中堅職員研修会 (1人)	9月30日	
・新潟県立図書館協議会委員連絡協議会 (1人)	10月21日	[書面開催]
・新潟県内公共図書館総合部門研究集会 (4人)	10月21日	[オンライン(ZOOM)開催]
・第2回公立図書館長会議 (1人)	11月18日	
・新潟県公共図書館児童部門研究集会 (5人)	12月9日	[オンライン(ZOOM)開催]
・県立図書館訪問研修 (11人)	12月11日	
・全国公共図書館研究集会 (2人)	1月28日	[オンライン(ZOOM)開催]
・新潟県公共図書館職員専門研修会 (3人)	3月3日	[オンライン(ZOOM)開催]
・新潟県図書館協会理事会 (1人)	3月22日	[書面開催]

【職場内研修】

・読み聞かせ研修	随時
----------	----

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	新型コロナウイルス感染拡大防止によるリモート(ZOOM)での研修が殆どではあったが、遠方(県外)での開催研修にもオンライン開催であったからこそ参加可能となり、例年になく各分野の研修に参加でき、職員のスキルアップにつながった。